

短期暴露評価により変更される農薬の使用方法について

国は農薬の登録にあたって、これまで一日摂取許容量（ADI）に基づく長期暴露評価を実施してきましたが、今後は、急性参照用量（ARfD）を指標とした短期暴露評価も実施することとなりました。

既登録農薬の中には、登録済みの使用方法ではARfDを超過する可能性がありますので、今後、使用方法の変更、適用作物の削除、それに伴った残留基準値見直しが行われる場合があります。

今後は順次ARfDが設定されますが、ARfDが設定されてから使用方法を変更した場合、残留基準値改定後も変更前の使用方法が表示された農薬が流通し、変更前の使用方法で使用了ことによる残留基準値超過事案が発生する可能性があります。

残留基準値超過事案などの問題を避けるため、ここで提供する「短期暴露評価により変更される農薬登録情報」を確認し、当該農薬を使用する場合は、農薬登録の変更前であっても変更後の使用方法に基づき農薬を使用するようお願いいたします。

平成 26 年 12 月 19 日

短期暴露評価により変更される農薬の防除指針への反映等について
(有効成分：ジメトエート)

ジメトエートを有効成分とする農薬について、これまで有効成分ジメトエートのみの評価に基づき農薬登録が行われていましたが、今後、改めて評価される場合は、ジメトエート及びその代謝物であるオメトエートが評価の対象になると想定されます。

今般、農薬製造者が、このことを考慮して自ら短期暴露評価を実施した上で、別紙の内容の使用制限となる登録の変更を申請しました。農薬製造者において、生産者団体等が作成する防除暦の変更を積極的に働きかけることとしておりますので、情報提供いたします。

つきましては、変更の登録がされる前であっても、申請されている変更後の使用方法に基づき、都道府県の防除指針等への反映や生産者団体等が作成する防除暦の変更の指導等に努めるようお願いします。

なお、本件は十分な時間的猶予をもって変更登録の申請をした場合にあたり、農薬使用者の指導を求めるものではありません。

別紙

1. 有効成分

ジメトエート

2. 農薬名

住化ジメトエート乳剤（農薬登録番号第 4803 号、住友化学株式会社）

サンケイジメトエート乳剤（農薬登録番号第 12406 号、琉球産経株式会社）

ジメトエート粒剤（農薬登録番号第 14397 号、住友化学株式会社）

ホクサンジメトエート粒剤（農薬登録番号第 22733 号、ホクサン株式会社）

ベジホン乳剤（農薬登録番号第 15450 号、住友化学株式会社）

ホクサンベジホン乳剤（農薬登録番号第 22630 号、ホクサン株式会社）

3. 変更内容

(1) ジメトエート乳剤

作物名「みかん」、「なつみかん」、「かんきつ（みかん、なつみかんを除く）」、「はくさい」、「トマト」、「ピーマン」、「かぼちゃ」、「しろうり」、「かぶ」、「にんじん」、「ねぎ」、「にら」、「たまねぎ」、「さやいんげん」、「さとうきび」※¹、※²、「パイナップル」※¹を削除

(2) ジメトエート粒剤

作物名「だいこん」、「なす」、「ねぎ」、「だいず」、「畑わさび」※²、「わさび」※²を削除

(3) ベジホン乳剤

作物名「キャベツ」、「はくさい」、「だいこん」を削除

注意事項

※¹は、サンケイジメトエート乳剤のみに適用があります。

※²は、短期暴露評価の対象とする食品ではありません。現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため、適用作物から削除することが申請されています。

平成 26 年 11 月 25 日

短期暴露評価により変更される農薬の防除指針への反映等について

(有効成分：カルボスルファン、ベンフラカルブ)

カルボスルファン、ベンフラカルブを有効成分とする農薬について、別紙のとおり使用制限となる登録の変更申請がされており、農薬製造者から農薬販売者、使用者等に対して、変更後の使用方法を記載したチラシ等を用いて情報が提供され、変更後の使用方法に基づいて農薬を使用するよう注意喚起が行われます。

つきましては、変更の登録がされる前であっても、農薬製造者からの宣伝や製品に付された票せん等により提供されている変更後の使用方法に基づき農薬を使用するよう農薬使用者を指導するとともに、申請されている変更後の使用方法に基づき、都道府県の防除指針等への反映や生産者団体等が作成する防除暦の変更の指導等に努めるようお願いします。

別紙

I カルボスルファン剤

1. 有効成分：カルボスルファン

2. 農薬名：

*FMCガゼット粒剤（農薬登録第20794号、エフエムシー・ケミカルズ株式会社
ガゼット粒剤（農薬登録第17400号、日産化学工業株式会社）

石原ガゼット粒剤（農薬登録第21046号、石原バイオサイエンス株式会社）

*ISKガゼット粒剤（農薬登録第23446号、石原産業株式会社）

*FMCアドバンテージ粒剤（農薬登録第20795号、エフエムシー・ケミカルズ株式
会社）

アドバンテージ粒剤（農薬登録第15474号、日産化学工業株式会社）

*石原アドバンテージ粒剤（農薬登録第21047号、石原バイオサイエンス株式
会社）

*FMCアドバンテージS粒剤（農薬登録第20796号、エフエムシー・ケミカルズ株
式会社）

石原アドバンテージS粒剤（農薬登録第21074号、石原バイオサイエンス株式
会社）

*ISKアドバンテージS粒剤（農薬登録第23181号、石原産業株式会社）

注意：*は販売がないため、チラシを用いた周知は実施しない。

3. 変更内容：

(1) ガゼット粒剤

作物名「なす」、「きゅうり」、「すいか」、「とうがん」、「だいこん」、「キャベ
ツ」、「はくさい」、「ねぎ」、「ブロッコリー」、「ばれいしょ」、「かんしょ」、「い
ちご」、「メロン」を削除

(2) アドバンテージ粒剤

作物名「きゅうり」、「すいか」、「なす」、「メロン」、「だいこん」、「かんしょ」、
「いちご」、「ねぎ」、「とうがん」を削除

(3) アドバンテージS粒剤

作物名「かんしょ」、「ねぎ」、「だいこん」を削除

II ベンフラカルブ剤

1. 有効成分：ベンフラカルブ

2. 農薬名：

オンコルOK粒剤（農薬登録第22787号、OATアグリオ株式会社）

グランドオンコル粒剤（農薬登録第20317号、OATアグリオ株式会社）

大塚ジャッジ箱粒剤（農薬登録第20092号、OATアグリオ株式会社）

明治ジャッジ箱粒剤（農薬登録第20093号、Meiji Seika ファルマ株式会社）

オンコル粒剤5（農薬登録第16575号、OATアグリオ株式会社）

オンコルスタークル粒剤（農薬登録第21972号、三井化学アグロ株式会社）

大塚オンコルスタークル粒剤（農薬登録第21973号、OATアグリオ株式会社）

オンダイアエース粒剤（農薬登録第20345号、OATアグリオ株式会社）

オンコルマイクロカプセル（農薬登録第20337号、OATアグリオ株式会社）

オンコル粒剤1（農薬登録第18190号、OATアグリオ株式会社）

*ホームガーデン粒剤（農薬登録第19681号、OATアグリオ株式会社）

*ガーデンホスピタル粒剤（農薬登録第23194号、OATアグリオ株式会社）

注意：*は販売がないため、チラシを用いた周知は実施しない。

3. 変更内容：

(1) オンコルOK粒剤

作物名「かんしょ」、「とうがん」、「オクラ」を削除

(2) グランドオンコル粒剤

作物名「きゅうり」、「キャベツ」、「ねぎ」を削除。

(3) ジャッジ箱粒剤

作物名「きゅうり」、「キャベツ」、「ねぎ」を削除。

(4) オンコル粒剤5

作物名「きゅうり」、「すいか」、「メロン」、「なす」、「なばな」、「キャベツ」、「はくさい」、「だいこん」、「ブロッコリー」、「カリフラワー」、「レタス」、「ねぎ」、「わけぎ」、「ほうれんそう」、「とうがん」、「いちご」、「かんしょ」、「ばれいしょ」、「オクラ」を削除。

(5) オンコルスタークル粒剤

作物名「ねぎ」、「きゅうり」、「なす」、「メロン」を削除。

(6) オンダイアエース粒剤

作物名「キャベツ」、「はくさい」、「ブロッコリー」、「ばれいしょ」、「ねぎ」、「すいか」、「メロン」、「なす」、「だいこん」を削除。

(7) オンコルマイクロカプセル

作物名「キャベツ」、「はくさい」、「ブロッコリー」、「カリフラワー」、「レタス」、「非結球レタス」、「ねぎ」、「わけぎ」、「にら」を削除。

(8) オンコル粒剤1、ホームガーデン粒剤

作物名「キャベツ」、「はくさい」、「だいこん」、「きゅうり」、「すいか」、「メロン」、「なす」、「ねぎ」を削除。

(9) ガーデンホスピタル粒剤

作物名「きゅうり」、「すいか」、「メロン」、「なす」、「なばな」、「キャベツ」、「はくさい」、「だいこん」、「ブロッコリー」、「カリフラワー」、「レタス」、「ねぎ」、「わけぎ」、「ほうれんそう」、「いちご」、「かんしょ」、「ばれいしょ」、「オクラ」を削除。

Ⅲ 参考

以下のカルボスルファン又はベンフラカルブを有効成分とする農薬は、変更登録の必要がない又は失効予定です。

1. 変更登録の必要がない農薬

ギャング粒剤（農薬登録第19560号、BASFジャパン株式会社）

日産ギャング粒剤（農薬登録第19561号、日産化学工業株式会社）

ビームガゼット粒剤55（農薬登録第19056号、ダウ・ケミカル日本株式会社）

日産ビームガゼット粒剤55（農薬登録第23255号、日産化学工業株式会社）

ビームアドバンテージ粒剤（農薬登録第16646号、ダウ・ケミカル日本株式会社）

オリゼメートアドバンテージ粒剤（農薬登録第17142号、日産化学工業株式会社）

明治オリゼメートアドバンテージ粒剤（農薬登録第17143号、Meiji Seika ファルマ株式会社）

オーベスト箱粒剤（農薬登録第23031号、OATアグリオ株式会社）

大塚オリゼメートオンコル粒剤（農薬登録第17870号、OATアグリオ株式会社）

明治オリゼメートオンコル粒剤（農薬登録第17871号、Meiji Seika ファルマ株式会社）

大塚グランドオリゼメートオンコル粒剤（農薬登録第21058号、OATアグリオ株式会社）

明治グランドオリゼメートオンコル粒剤（農薬登録第21059号、Meiji Seika ファルマ株式会社）

大塚ブイゲットグランドオンコル粒剤（農薬登録第21223号、OATアグリオ株式会社）

日農ブイゲットグランドオンコル粒剤（農薬登録第21224号、日本農薬株式会社）

大塚ジャッジフェルテラ箱粒剤（農薬登録第23192号、OATアグリオ株式会社）

明治ジャッジフェルテラ箱粒剤（農薬登録第23193号、Meiji Seika ファルマ株式会社）

オーベストオリゼ10箱粒剤（農薬登録第23442号、OATアグリオ株式会社）

大塚オンコル入り側条用肥料1号（農薬登録第18921号、OATアグリオ株式会社）

2. 失効予定の農薬

大塚ステッド粒剤（農薬登録第18945号、OATアグリオ株式会社）

平成 26 年 11 月 13 日

短期暴露評価により変更される農薬の防除指針への反映等について
(有効成分；フェナリモール、フルバリネート、NAC)

下記のフェナリモール（別紙 1）、フルバリネート（別紙 2）、NAC（別紙 3）を有効成分とする農薬について、農薬製造者が自ら実施した短期暴露評価の結果に基づき、別紙の内容の使用制限となる登録の変更申請がされました。農薬製造者において、生産者団体等が作成する防除暦の変更を積極的に働きかけることとしておりますので、情報提供いたします。

つきましては、変更の登録がされる前であっても、申請されている変更後の使用方法に基づき、都道府県の防除指針等への反映や生産者団体等が作成する防除暦の変更の指導等に努めるようお願いします。

なお、本件は十分な時間的猶予をもって変更登録の申請をした場合にあたり、農薬使用者の指導を求めるものではありません。

別紙1

1. 有効成分：フェナリモル

2. 農薬名：

日産ルビゲン水和剤（農薬登録第 16866 号、日産化学工業株式会社）

日産スペックス水和剤（農薬登録第 17606 号、日産化学工業株式会社）

3. 変更内容：

(1) 日産ルビゲン水和剤

作物名「トマト」、「もも」を削除。

(2) 日産スペックス水和剤

作物名「もも」を削除。

別紙2

1. 有効成分：フルバリネート

2. 農薬名：

(1) フルバリネート水和剤

マブリック水和剤20（農薬登録第16714号、日本農薬㈱）

クミアイマブリック水和剤20（農薬登録第16715号、クミアイ化学工業㈱）

(2) フルバリネート乳剤

マブリックEW（農薬登録第17943号、日本農薬㈱）

クミアイマブリックEW（農薬登録第17944号、クミアイ化学工業㈱）

(3) フルバリネートくん煙剤

日曹マブリックジェット（農薬登録第16720号、日本曹達㈱）

マブリックジェット（農薬登録第16721号、日本農薬㈱）

新富士マブリックジェット（農薬登録第16722号、新富士化成薬㈱）

3. 変更内容：

(1) マブリック水和剤20、クミアイマブリック水和剤20

① 作物名「大粒種ぶどう」、「トマト」を削除。

② 作物名「レタス」の使用時期を「収穫前日まで」から「収穫7日前まで」に変更。

(2) マブリックEW、クミアイマブリックEW

作物名「大粒種ぶどう」を削除。

(3) 日曹マブリックジェット、マブリックジェット、新富士マブリックジェット

作物名「トマト」を削除。

4. 失効に関する情報

ヤシママブリック水和剤20（農薬登録第19471号、協友アグリ㈱）は、作物名「大粒種ぶどう」、「トマト」を削除し、作物名「レタス」の使用時期を変更する必要があったが、農薬製造者の届出により登録が失効になった。

また、ヤシママブリックEW（農薬登録第19472号、協友アグリ㈱）及び協友マブリックEW（農薬登録第23508号、協友アグリ㈱）も、作物名「大粒種ぶどう」を削除する必要があったが、農薬製造者の届出により登録が失効になった。

別紙3

1. 有効成分：NAC

2. 農薬名：

日産マイクロデナポン水和剤85（農薬登録第5129号、日産化学工業株式会社）

日農マイクロデナポン水和剤85（農薬登録第5131号、日本農薬株式会社）

ホクコーマイクロデナポン水和剤85（農薬登録第5133号、北興化学工業株式会社）

三明マイクロデナポン水和剤85（農薬登録第11013号、三明ケミカル株式会社）

*ローヌ・プーランマイクロデナポン水和剤85（農薬登録第18186号、TKI JAPAN株式会社）

*ローヌ・プーランデナポン水和剤50（農薬登録第18191号、TKI JAPAN株式会社）

注意：*は、販売実績がないため、農薬製造者による防除暦の変更の働きかけは行われません。

3. 変更内容：

(1) ミクロデナポン水和剤85

作物名「ぶどう」、「はくさい」を削除

(2) デナポン水和剤50

作物名「ぶどう」を削除

4. 失効に関する情報

(1) ホクコーデナポン水和剤50（農薬登録第4491号、北興化学工業株式会社）については、「ぶどう」を削除する必要があるが、現在、本剤の販売はしていない。また、農薬製造者の意向により登録を失効させる予定。

(2) また、ヤシママブリックナック水和剤（農薬登録第19533号、協友アグリ株式会社）についても、作物名「はくさい」を削除する必要があるが、現在、本剤の販売はしていない。また、農薬製造者の意向により登録を失効させる予定。

平成 26 年 9 月 18 日

短期暴露評価により変更される農薬の使用方法の変更について
(有効成分；アセフェート)

下記のアセフェートを有効成分とする農薬について、別紙の内容の使用制限となる登録の変更申請がされており、農薬の製造者から農薬販売者、使用者等に対して、変更後の使用方法を記載したチラシ等を用いて情報が提供され、変更後の使用方法に基づいて農薬を使用するよう注意喚起が行われております。

つきましては、変更の登録がされる前であっても、農薬製造者からの宣伝や製品に付された票せん等により提供されている変更後の使用方法に基づき農薬を使用するよう農薬使用者を指導するとともに、申請されている変更後の使用方法に基づき、都道府県の防除指針等への反映や生産者団体等が作成する防除暦の変更の指導等に努めるようお願いします。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成26年11月17日に使用制限となる登録の変更が予定されております。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第13175号	ホクコーオトルン水和剤	アセフェート水和剤	北興化学工業株式会社
第19992号	オトルン水和剤	アセフェート水和剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第19566号	家庭園芸用ホクコーオトルン水和剤	アセフェート水和剤	北興化学工業株式会社
第21519号	家庭園芸用オトルン水和剤	アセフェート水和剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第21819号	家庭園芸用GFオトルン水和剤	アセフェート水和剤	住友化学園芸株式会社
第13177号	ホクコーオトルン粒剤	アセフェート粒剤	北興化学工業株式会社
第19993号	オトルン粒剤	アセフェート粒剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第19568号	家庭園芸用ホクコーオトルン粒剤	アセフェート粒剤	北興化学工業株式会社
第21520号	家庭園芸用オトルン粒剤	アセフェート粒剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社
第21789号	家庭園芸用GFオトルン粒剤	アセフェート粒剤	住友化学園芸株式会社
第21733号	オトルンDX粒剤	アセフェート・クロチアニジン粒剤	住友化学園芸株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

1) アセフェート水和剤

（第13175号 ホクコーオトルン水和剤、第19992号 オトルン水和剤）

- ①作物名「なす」を削除する。
- ②作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ③作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000～1500倍又は1000～2000倍」を「1500倍又は1500～2000倍」、「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ④作物名「レタス」の「使用時期」を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に変更する。
- ⑤作物名「ブロッコリー」を削除する。

- ⑥作物名「だいこん」を削除する。
- ⑦作物名「はつかだいこん」を削除する。
- ⑧作物名「非結球あぶらな科葉菜類（ケール、からしな、みずな、ルッコラを除く）」を「非結球あぶらな科葉菜類（ケール、からしな、みずな、ルッコラ、たかなを除く）」に変更する。
- ⑨作物名「かぶ」を削除する。
- ⑩作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」、「4回以内」から「2回以内」及び「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。
- ⑪作物名「トマト」及び「ミニトマト」を削除する。
- ⑫作物名「とうもろこし」を「未成熟とうもろこし」に変更する。
- ⑬作物名「ぶどう」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫30日前まで」から「収穫60日前まで」、「2回以内」から「1回」及び「2回以内」から「1回」に変更する。
- ⑭作物名「かき」の「適用病害虫名」の「カキクダアザミウマ、チャノキイロアザミウマ、カキノヘタムシガ」の「希釈倍数」を「1000～1500倍」から「1500倍」に変更し、「適用病害虫名」の「フジコナカイガラムシ」の「希釈倍数」を「1000倍」から「1500倍」に変更し、「適用病害虫名」の「カキノヒメヨコバイ」を削除する。
- ⑮作物名「かんきつ」を削除する。
- ⑯作物名「茶」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「摘採30日前まで」から「摘採45日前まで」、「2回以内」から「1回」及び「2回以内」から「1回」に変更する。
- ⑰作物名「オクラ」の「使用時期」を「収穫7日前まで」から「収穫開始7日前まで」に変更する。

2) アセフェート水和剤（家庭園芸用）

（第19566号 家庭園芸用ホクローльтラン水和剤、第21519号 家庭園芸用オльтラン水和剤、第21819号 家庭園芸用GFオльтラン水和剤）

- ①作物名「なす」を削除する。
- ②作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ③作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000～1500倍又は1000～2000倍」を「1500倍又は1500～2000倍」、「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ④作物名「レタス」の「使用時期」を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に変更する。
- ⑤作物名「ブロッコリー」を削除する。
- ⑥作物名「だいこん」を削除する。
- ⑦作物名「はつかだいこん」を削除する。

- ⑧作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」、「4回以内」から「2回以内」及び「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。
- ⑨作物名「トマト」及び「ミニトマト」を削除する。
- ⑩作物名「とうもろこし」を「未成熟とうもろこし」に変更する。
- ⑪作物名「ぶどう」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫30日前まで」から「収穫60日前まで」、「2回以内」から「1回」及び「2回以内」から「1回」に変更する。
- ⑫作物名「かき」の「適用病害虫名」の「カキクダアザミウマ、チャノキイロアザミウマ、カキノヘタムシガ」の「希釈倍数」を「1000~1500倍」から「1500倍」に変更し、「適用病害虫名」の「カキノヒメヨコバイ」を削除する。
- ⑬作物名「かんきつ」を削除する。
- ⑭作物名「オクラ」の「使用時期」を「収穫7日前まで」から「収穫開始7日前まで」に変更する。

3) アセフェート粒剤

(第13177号 ホクコーオウルラン粒剤、第19993号 オウルラン粒剤)

- ①作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫21日前まで」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時植穴散布及び生育期葉面散布」から「植穴処理」及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ②作物名「トマト」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日まで」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ③作物名「ミニトマト」を削除する。
- ④作物名「きゅうり、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日まで」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑤作物名「ピーマン」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日まで」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「株元散布」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑥作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫21日前まで」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「植穴散布及び生育期株元散布」から「植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑦作物名「ブロッコリー」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫14日前まで」から「定植時」、「3回以内」から「1

回」及び「3回以内」から「1回」に変更する。

- ⑧作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前作条散布」から「作条散布」及び「2回以内（は種前及びは種時の処理は合計1回以内）」から「1回」に変更する。
- ⑨作物名「はつかだいこん」を削除する。
- ⑩作物名「かぶ」の「使用時期」を「収穫14日前まで」から「収穫21日前まで」に変更する。
- ⑪作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。

4) アセフェート粒剤（家庭園芸用）

（第19568号 家庭園芸用ホクコーオムラン粒剤、第21520号 家庭園芸用オムラン粒剤、第21789号 家庭園芸用GFオムラン粒剤）

- ①作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫21日前までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時植穴散布及び生育期葉面散布」から「植穴処理」及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ②作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫21日前までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「植穴散布及び生育期株元散布」から「植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ③作物名「トマト」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「植溝散布又は植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ④作物名「ミニトマト」を削除する。
- ⑤作物名「きゅうり、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「植溝散布又は植穴処理」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑥作物名「ピーマン」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫前日までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」、「定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布」から「株元散布」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑦作物名「ブロッコリー」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び収穫14日前までの生育期」から「定植時」、「3回以内」から「1回」及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑧作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前植溝散布」から「植溝散布」及び「2回以内（は種前及びは種時の処理は合計1回以内）」から「1回」に変更する。

⑨作物名「はつかだいこん」を削除する。

⑩作物名「かぶ」の「使用時期」を「収穫 14 日前まで」から「収穫 21 日前まで」に変更する。

⑪作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 4 回以内）」から「3 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内）」に変更する。

5) アセフェート・クロチアニジン粒剤（第 21733 号 オルトラン DX 粒剤）

作物名「トマト、なす、きゅうり」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「3 回以内」から「1 回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

1) アセフェート水和剤

（第 13175 号 ホクコーオ尔特ラン水和剤、第 19992 号 オ尔特ラン水和剤）

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数		
なす	アブラムシ類、アザミウマ類	1000～2000 倍	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内		
	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	1000 倍						
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマキリンウバ	1000～1500 倍	収穫 14 日前まで	2 回以内			2 回以内 (は種前及びは種時の処理は合計 1 回以内)	
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1000～2000 倍					2 回以内 (は種前の処理は 1 回以内)	
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1000～1500 倍	収穫 21 日前まで	1 回			1 回	
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1000～2000 倍						
レタス	ヨトウムシ	1000～1500 倍	収穫 7 日前まで	4 回以内			10a 当り 25L 散布	5 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、 植付後は 4 回以内)
ブロッコリー	オオタバコガ	1000 倍						
だいこん	ヨトウムシ、カブラハバチ ダコソシンクイムシ	1500 倍	収穫前日まで	3 回以内			散布	3 回以内
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1500～2000 倍						
はつかだいこん	ヨトウムシ、カブラハバチ ダコソシンクイムシ	1500 倍	収穫 7 日前まで	4 回以内	10a 当り 25L 散布	2 回以内 (定植時の処理は 1 回以内、定植後は 1 回以内)		
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1500～2000 倍						
非結球 あぶらな科葉菜類 (ケール、からしな、 みずな、ルッコラを 除く)	アブラムシ類	1500 倍	収穫 7 日前まで	4 回以内	10a 当り 25L 散布	2 回以内		
かぶ	アブラムシ類、アオムシ、コガ	1000 倍						
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000 倍	収穫 7 日前まで	4 回以内	10a 当り 25L 散布	2 回以内		
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ	1000 倍						
	アブラムシ類	300 倍						
トマト	アブラムシ類	1000～2000 倍	収穫前日まで	3 回以内	散布	2 回以内		
	マメハモグリバエ	1000 倍						
ミニトマト	アブラムシ類	1500 倍	収穫 14 日前まで	1 回	散布	2 回以内		
とうもろこし		1000 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内				
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500～2000 倍	収穫 30 日前まで		2 回以内	散布	2 回以内	
	ハマキムシ類	1500 倍						
かき	カキクダアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキノハタムシガ	1000～1500 倍	収穫 45 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内		
	カキノヒメヨコバイ アジコカカガラムシ	1000 倍						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフェートを含む農薬の総使用回数
かんきつ	コクモンハマキ、シャクトリムシ類 ヤノコバガラムシ第1世代 ツノロウムシ、ルビローロウムシ ミカンキイロアザミウマ ネキアザミウマ コホウノミドリヒメコバハイ	1000倍	収穫30日前まで	3回以内	散布	3回以内
	アブラムシ類、ケシキスイ類 コアオハナムグリ、アザミウマ類	1000～1500倍				
	ミカントゲコナジラミ	1500～2000倍				
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメコバハイ	1000～2000倍	摘採30日前まで	2回以内		2回以内
	チャノコクモンハマキ	1000～1500倍				

[変更後]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフェートを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマキシンウバ	1000～1500倍	100～300 L/10a	収穫30日前まで	1回	散布	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)	
	アオムシ、コナガ アブラムシ類	1000～2000倍						
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1500倍						
	アオムシ、コナガ アブラムシ類	1500～2000倍						
レタス	ヨトウムシ	1000～1500倍						
	オオタバコガ	1000倍						
非結球あぶらな 科葉菜類(ケール、 からしな、みずな、 ルッコラ、たかなを除く)	アブラムシ類	1500倍		収穫21日前まで	1回		1回	
オクラ	アブラムシ類 ミドリコバハイ	1000倍		収穫開始 7日前まで				
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ			25L/10a	収穫30日前まで		2回以内	3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)
	アブラムシ類 ジャガイモガ	300倍 1000～1500倍						
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	1000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで		2回以内		
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメコバハイ ハマキムシ類	1500～2000倍	200～700 L/10a	収穫60日前まで	1回	1回		
	カキタアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキハタムシガ フジコナカバガラムシ	1500倍						
かき	カキタアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキハタムシガ フジコナカバガラムシ	1500倍		収穫45日前まで	2回以内	2回以内		
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメコバハイ	1000～2000倍	200～400 L/10a	摘採45日前まで	1回	1回		
	チャノコクモンハマキ	1000～1500倍						

2) アセフェート水和剤(家庭園芸用)

(第19566号 家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン水和剤、第21519号 家庭園芸用オ
 ルトラン水和剤、第21819号 家庭園芸用GFオ尔特ラン水和剤)

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	アセフェートを 含む農薬の 総使用回数	
なす	アブラムシ類、アザミウマ類	1000～2000倍	収穫7日 前まで	3回以内	散布	3回以内	
	ハスモンヨトウ、オオタバコガ	1000倍					
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマキシンウバ	1000～1500倍	収穫14日 前まで	2回以内			2回以内 (は種前及び は種時の処理は 合計1回以内)
	アオムシ、コカガ、アブラムシ類	1000～2000倍					
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1000～1500倍	収穫7日 前まで	4回以内			2回以内 (は種前の処理は 1回以内)
	アオムシ、コカガ、アブラムシ類	1000～2000倍					
レタス	ヨトウムシ	1000～1500倍	収穫7日 前まで	4回以内		5回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後は 4回以内)	
ブロッコリー	オオタバコガ	1000倍					
だいこん	ヨトウムシ、カブラハバチ ダレコシクイムシ	1500倍	収穫前日 まで	3回以内		2回以内 (定植時の処理は 1回以内、定植後は 1回以内)	
	アオムシ、コカガ、アブラムシ類	1500～2000倍					
はつかだいこん	ヨトウムシ、カブラハバチ ダレコシクイムシ	1500倍	収穫7日 前まで	4回以内		1回	
	アオムシ、コカガ、アブラムシ類	1500～2000倍					
ばれいしょ	ヨトウムシ テントウムシダマシ幼虫	1000倍	収穫前日 まで	3回以内	2回以内		
	アブラムシ類、シヤガバネガ	1000～1500倍					
トマト	アブラムシ類	1000～2000倍	収穫前日 まで	3回以内	2回以内		
	マメハモグリバエ	1000倍					
ミニトマト	アブラムシ類	1500倍	収穫14日 前まで	1回	1回		
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000倍	収穫7日 前まで	2回以内	2回以内		
とうもろこし	アブラムシ類		収穫30日 前まで				
ぶどう	チャノキアザミウマ フタテヒメヨコバイ	1500～2000倍	収穫45日 前まで	3回以内	3回以内		
	ハマキムシ類*	1500倍					
かき	カキタアザミウマ チャノキアザミウマ カキノハムシガ	1000～1500倍	収穫30日 前まで	3回以内			
	カキノヒメヨコバイ	1000倍					
かんきつ	コカモンハマキ、シヤクトリムシ類 ヤノハハラムシ第1世代 ツノロウムシ、ルビローウムシ ミカンキアザミウマ ネギアザミウマ ゴボウノミドリヒメヨコバイ	1000倍	収穫30日 前まで	3回以内			
	アブラムシ類、ケシキイ類 コアハナムグリ、アザミウマ類	1000～1500倍					
	ミカンゲコソジラミ	1500～2000倍					

*: 但し、登録番号21519号 家庭園芸用オ尔特ラン水和剤には「ぶどう」の適用病害虫「ハマキムシ類」の登録はありません。

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数		
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ タマキリンウバ	1000～1500 倍	100～300 mL/m ²	収穫 30 日 前まで	1 回	散布	2 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内)		
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1000～2000 倍					1 回		
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1500 倍			3 回以内		3 回以内	3 回以内	
	アオムシ、コガ、アブラムシ類	1500～2000 倍						2 回以内	
レタス	ヨトウムシ オオタバコガ	1000～1500 倍					2 回以内	3 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)	
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ	1000 倍			1000 倍		収穫開始 7 日前まで	1 回	1 回
	アブラムシ類、ジャガイモガ	1000～1500 倍							2 回以内
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000 倍			200～700 mL/m ²		収穫 7 日 前まで	2 回以内	2 回以内
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類								1 回
ぶどう	チャノキロアサミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500～2000 倍			200～700 mL/m ²		収穫 60 日 前まで	1 回	1 回
	ハマキムシ類*	1500 倍	2 回以内						
かき	カキクダアサミウマ チャノキロアサミウマ カキハタムシガ	1500 倍		収穫 45 日 前まで	2 回以内	2 回以内			

*：但し、登録番号 21519 号家庭園芸用マルチ水和剤には「ぶどう」の適用病害虫「ハマキムシ類」の登録はありません。

3) アセフェート粒剤

(第 13177 号 ホクコーオ尔特ラン粒剤、第 19993 号 オ尔特ラン粒剤)

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コガ ^テ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時及び 収穫 21 日前まで	3 回以内	定植時植穴散布 及び生育期葉面 散布	3 回以内
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期	1 回	散布	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時及び 収穫前日まで	3 回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	2 回以内 (定植時の 処理は 1 回 以内、定植 後は 1 回以 内)
ミニトマト			定植時	1 回	定植時作条散布 又は植穴散布	
きゅうり なす			アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ	2g/株	定植時及び 収穫前日まで	
ピーマン	アブラムシ類					
はくさい	アオムシ、コガ ^テ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時及び 収穫 21 日前まで	3 回以内	植穴散布及び 生育期株元散布	3 回以内
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (2g/株)	定植時及び収穫 14 日前まで		株元散布	
だいこん	アオムシ、コガ ^テ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1 回	は種前 作条散布	2 回以内 (は種前及 びは種時の 処理は合計 1 回以内)
はつかだいこん						2 回以内 (は種前の 処理は 1 回 以内)
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫 14 日前まで	1 回	株元散布	1 回
ばれいしょ		3～6kg/10a (1～2g/株)	植付時			作条散布

[変更後]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	アオムシ、コガ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)	
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期		散布		
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時		1回	作条散布 又は植穴処理	1回
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ						
ピーマン	アブラムシ類	2g/株				株元散布	
はくさい	アオムシ、コガ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)				植穴処理	
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (2g/株)				株元散布	
だいこん	アオムシ、コガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前			作条散布	
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫 21 日 前まで			株元散布	
ばれいしょ		3～6kg/10a (1～2g/株)	植付時			作条散布	

4) アセフェート粒剤 (家庭園芸用)

(第 19568 号 家庭園芸用ホクローオトルラン粒剤、第 21520 号 家庭園芸用オトルラン粒剤、第 21789 号 家庭園芸用 G F オトルラン粒剤)

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コガネヨトウムシ アブラムシ類	3~6g/m ² (1株当たり1~2g)	定植時及び収穫21日前までの生育期	3回以内	定植時植穴散布及び生育期葉面散布	3回以内
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期	1回	散布	
はくさい	アオムシ、コガネヨトウムシ アブラムシ類	3~6g/m ² (1株当たり1~2g)	定植時及び収穫21日前までの生育期	3回以内	植穴散布及び生育期株元散布	3回以内
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ		定植時及び収穫前日までの生育期		定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布	
ミニトマト			定植時	1回	定植時植溝又は植穴散布	2回以内 (定植時の処理は1回以内、定植後は1回以内)
きゅうり なす	アブラムシ類 アサギマダラ類 オンシツコナジラミ		1株当たり2g	定植時及び収穫前日までの生育期	3回以内	定植時植溝又は植穴散布、生育期株元散布
ピーマン	アブラムシ類	株元散布				
ブロッコリー	ヨトウムシ	6g/m ² (1株当たり2g)	定植時及び収穫14日前までの生育期	1回	株元散布	2回以内 (は種前及びは種時の処理は合計1回以内)
だいこん	アオムシ、コガネアブラムシ類	3~4g/m ²	は種前		は種前植溝散布	2回以内 (は種前の処理は1回以内)
はつかだいこん					株元散布	1回
かぶ	アブラムシ類	4g/m ²	収穫14日前まで		株元散布	1回
ばれいしょ		3~6g/m ² (1株当たり1~2g)	植付時**	植溝散布	5回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内)	

** : 但し、登録番号 21789 号 家庭園芸用 G F オトルラン粒剤の「ばれいしょ」の使用時期は「植付前」です。

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コガネヨトウムシ アブラムシ類	3～6g/m ² (1株当たり1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)
	アブラムシ類	6g/m ²	育苗期		散布	
はくさい	アオムシ、コガネヨトウムシ アブラムシ類	3～6g/m ² (1株当たり1～2g)	定植時		植穴処理	1回
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ				植溝散布又は植穴処理	
きゅうり なす	アブラムシ類 アサミヤカ類 オンシツコナジラミ				株元散布	
ピーマン	アブラムシ類				1株当たり2g	
ブロッコリー	ヨトウムシ	6g/m ² (1株当たり2g)	株元散布			
だいこん	アオムシ、コガネアブラムシ類	3～4g/m ²	は種前		植溝散布	
かぶ	アブラムシ類	4g/m ²	収穫21日前まで		株元散布	
ばれいしょ		3～6g/m ² (1株当たり1～2g)	植付時		植溝散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)

5) アセフェート・クロチアニジン粒剤 (第 21733 号 オルトラン DX 粒剤)

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
トマト	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	3回以内	4回以内 (育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内)
なす		2g/株					
きゅうり	コジラミ類						

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
トマト	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	植穴処理 土壌混和	1回	4回以内 (育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内)
なす		2g/株					
きゅうり	コジラミ類						

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成26年11月17日に使用制限となる登録の変更が予定されております。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20939号	ジェイエース粒剤	アセフェート粒剤	全国農業協同組合連合会
第21904号	スミフェート粒剤	アセフェート粒剤	住友化学株式会社
第20967号	ジェイエース水溶剤	アセフェート水溶剤	全国農業協同組合連合会
第21903号	スミフェート水溶剤	アセフェート水溶剤	住友化学株式会社

■変更内容及び変更理由

1) アセフェート粒剤（第20939号 ジェイエース粒剤、第21904号 スミフェート粒剤）

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ① 作物名「キャベツ」の「適用病害虫名」、「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「ハイマダラノメイガ」を削除し、「定植時及び生育期 但し、収穫21日前まで」から「定植時」に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期葉面散布」から「植穴処理」に、及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ② 作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫21日前まで」から「定植時」に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期株元散布」から「植穴処理」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ③ 作物名「ブロッコリー」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫14日前まで」から「定植時」に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期株元散布」から「株元散布」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ④ 作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前作条散布」から「作条散布」に、及び「2回以内（は種前及びは種時の処理は合計1回以内）」から「1回」に変更する。
- ⑤ 作物名「かぶ」の「使用時期」及び「使用方法」をそれぞれ「収穫14日前まで」から「収穫21日前まで」に、及び「生育期葉面散布」から「株元散布」に変更する。
- ⑥ 作物名「なばな」の「使用方法」を「定植時土壌混和处理」から「土壌混和处理」に変更する。
- ⑦ 作物名「きゅうり、トマト、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫前日まで」から「定植時」に、「3回以内」から「1回」に、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑧ 作物名「ミニトマト」を削除する。

- ⑨ 作物名「みずな」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時作条散布後土壌混和」から「作条散布後土壌混和」に、及び「2回以内（定植時は1回以内）」から「1回」に変更する。
- ⑩ 作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。
- ⑪ 作物名「こまつな」の「使用方法」を「は種前作条散布後土壌混和」から「作条散布後土壌混和」に変更する。
- ⑫ 作物名「チンゲンサイ」の「使用方法」を「定植時作条散布後土壌混和」から「作条散布後土壌混和」に変更する。

2) アセフェート水溶剤

(第 20967 号 ジェイエース水溶剤、第 21903 号 スミフェート水溶剤)

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ① 作物名「かんきつ」を削除する。
- ② 作物名「かき」の「希釈倍数」を「1000～1500倍」から「1500倍」に変更する。
- ③ 作物名「ぶどう」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫30日前まで」から「収穫60日前まで」に、「2回以内」から「1回」に、及び「2回以内」から「1回」に変更する。
- ④ 作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫7日前まで」から「収穫30日前まで」に、「3回以内」から「1回」に、及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ⑤ 作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000～1500倍」から「1500倍」に、「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に、「3回以内」から「1回」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑥ 作物名「レタス」の「使用時期」を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に変更する。
- ⑦ 作物名「ブロッコリー」を削除する。
- ⑧ 作物名「だいこん」を削除する。
- ⑨ 作物名「かぶ」を削除する。
- ⑩ 作物名「チンゲンサイ」の「希釈倍数」を「1000倍」から「1500倍」に変更する。
- ⑪ 作物名「みずな」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000倍」から「1500倍」に、「収穫14日前まで」から「収穫21日前まで」に、「2回以内」から「1回」及び「2回以内（定植時は1回以内）」から「1回」に変更する。
- ⑫ 作物名「トマト」、「ミニトマト」及び「なす」を削除する。
- ⑬ 作物名「オクラ」の「使用時期」を「収穫3日前まで」から「収穫開始7日前まで」に変更する。
- ⑭ 作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総

使用回数」をそれぞれ「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「4 回以内」から「2 回以内」に、及び「5 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 4 回以内）」から「3 回以内（植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内）」に変更する。

- ⑮ 作物名「茶」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「摘採 30 日前まで」から「摘採 45 日前まで」に、「2 回以内」から「1 回」に、及び「2 回以内」から「1 回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

1) アセフェート粒剤（第 20939 号 ジェイエース粒剤、第 21904 号 スミフェート粒剤）

【変更前】

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	アセフェートを 含む農薬の 総使用回数	
キャベツ	アオムシ コガ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当り 1～2g)	定植時及び生育期 但し、 収穫 21 日前まで	3 回 以内	定植時植穴処理 及び 生育期葉面散布	3 回以内	
	ハイマダラメカイ		収穫 21 日前まで		生育期葉面散布		
はくさい	アオムシ コガ ヨウムシ アブラムシ類		定植時及び生育期 但し、 収穫 21 日前まで				定植時植穴処理 及び 生育期株元散布
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (1株当り 2g)	定植時及び生育期 但し、 収穫 14 日前まで				
だいこん	アオムシ コガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1 回	は種前作条散布	2 回以内 (は種前及び は種時の 処理は 合計 1 回以内)	
かぶ		4kg/10a	収穫 14 日前まで			生育期葉面散布	
なばな	アブラムシ類	6kg/10a (1株当り 2g)	定植時		定植時土壌混和 処理	1 回	
きゅうり	オンシツコナジラミ アザミウマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当り 1～2g)	定植時及び生育期 但し、収穫前日まで	3 回 以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3 回以内	
トマト							
ミニトマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ		定植時	1 回	定植時作条散布 又は 植穴散布	2 回以内 (定植時の処理 は 1 回以内、 定植後は 1 回以内)	
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ アザミウマ類		定植時及び生育期 但し、収穫前日まで	3 回 以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3 回以内	
みずな		6kg/10a	定植時		定植時作条散布 後土壌混和	2回以内 (定植時は 1回以内)	
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6kg/10a	植付時	1回	作条散布	5回以内 (植付時の処理 は1回以内、 植付後は 4回以内)	
こまつな			は種前			は種前作条 散布後土壌混和	1回
チンゲンサイ			定植時			定植時作条 散布後土壌混和	

[変更後]

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	アセフトを 含む農薬の 総使用回数
キャベツ	アオムシ コガ ヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 1回以内)
はくさい						
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (1株当たり 2g)			株元散布	1回
だいこん	アオムシ コガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前		作条散布	
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫 21 日 前まで		株元散布	
なばな		6kg/10a (1株当たり 2g)			土壌混和処理	
きゅうり	オンシツコジラミ アブラムシ類 アザミウマ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時		作条散布 又は 植穴処理	
トマト	アブラムシ類 オンシツコジラミ					
なす	アブラムシ類 オンシツコジラミ アザミウマ類					
みずな						
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6kg/10a	植付時	作条散布	3回以内 (植付時の処理は 1回以内、 植付後は 2回以内)	
こまつな			は種前	作条散布後 土壌混和	1回	
チンゲンサイ			定植時			

2) アセフェート水溶剤

(第 20967 号 ジェイエース水溶剤、第 21903 号 スミフェート水溶剤)

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
かんきつ	ヤノ初イ ^ラ ムシ ツノロウムシ ルビ ^ー ロウムシ ミカンキイロアザ ^ミ ウマ アザ ^ミ ウマ類	1000 倍	200~700 L/10a	収穫 30 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内	
	コアオハナムケ ^リ チャノキイロアザ ^ミ ウマ アブラムシ類 ケシキスイ類	1000~ 1500 倍						
	ミカントケ ^コ ジ ^ラ ミ	1500 倍						
かき	カキクダ ^ア ザ ^ミ ウマ チャノキイロアザ ^ミ ウマ カキノハナムシ ^カ	1000~ 1500 倍	200~700 L/10a	収穫 45 日前 まで	2 回 以内			2 回以内
ぶどう	チャノキイロアザ ^ミ ウマ フタテンヒメヨコ ^ハ イ	1500~ 2000 倍		収穫 30 日前 まで				
キャベツ	ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類 タマノギンウ ^ワ バ	1000~ 1500 倍	100~300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内			3 回以内
はくさい	ハスモンヨトウ アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類			収穫 14 日前 まで				
レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバ ^コ ガ			1000 倍				
ブロッコリー	ヨトウムシ							
だいこん	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1500~ 2000 倍	100~300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	2 回以内 (は種前及び は種時の処理は 合計 1 回以内)		
	ハイタ ^ラ ノメ ^イ ガ	1500 倍						
かぶ	アオムシ コナガ アブラムシ類	1500~ 2000 倍	100~300 L/10a	収穫 21 日前 まで	1 回	1 回		
チンゲンサイ	アブラムシ類	1000 倍		収穫 14 日前 まで	2 回 以内	2 回以内 (定植時は 1 回以内)		
みずな				1000~ 2000 倍	収穫前日 まで	3 回 以内	3 回以内	
トマト	マメハモク ^リ バ ^エ オオタバ ^コ ガ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	3 回以内		

(つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
ミニトマト	アブラムシ類	1000～2000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	1回	散布	2回以内 (定植時の処理は1回以内、定植後は1回以内)	
	マメハモグリハエ オオタバコガ	1000倍						
なす	アブラムシ類	1000～2000倍		1000倍	収穫7日前まで		3回以内	3回以内
	シロキイロアサミマ ハスモンヨトウ オオタバコガ アザミウマ類							
	アブラムシ類 フタテンミドリヒメヨコバイ							
オクラ	アブラムシ類 フタテンミドリヒメヨコバイ				収穫3日前まで		1回	1回
ばれいしょ	ヨトウムシ オオシロユウヤホシテントウ		25L/10a	収穫7日前まで	4回以内	5回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内)		
	アブラムシ類	1000～2000倍						
		300倍						
茶	チャノキイロアサミマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～2000倍	200～400 L/10a	摘採30日前まで	2回以内	2回以内		
	チャノコカクモンハマキ	1000～1500倍						

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アフェートを含む農薬の総使用回数
かき	カキタ ^{アサミウマ} チャノキイロアサ ^{ミウマ} カキノハタムシ ^カ	1500倍	200～700 L/10a	収穫45日前まで	2回以内	散布	2回以内
ぶどう	チャノキイロアサ ^{ミウマ} フタテンヒメヨコ ^{バイ}	1500～ 2000倍		収穫60日前まで	1回		1回
キャベツ	ハスモンヨトウ アオムシ コガ ^カ ヨトウムシ アブラムシ類 タマキ ^{ソウワバ}	1000～ 1500倍	100～300 L/10a	収穫30日前まで			1回
はくさい	ハスモンヨトウ アオムシ コガ ^カ ヨトウムシ アブラムシ類	1500倍			1回		
レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコ ^カ	1000～ 1500倍 1000倍			3回以内		3回以内
チンゲンサイ みずな	アブラムシ類	1500倍	100～300 L/10a	収穫21日前まで	1回		1回
オクラ	アブラムシ類 フタテンミト ^{リヒメヨコ} バイ	1000倍		収穫開始7日前まで			
ばれいしょ	ヨトウムシ オオニシ ^{ユウヤホシテント} ウ		1000～ 2000倍 300倍	25L/10a	収穫30日前まで	2回以内	3回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後は 2回以内)
	アブラムシ類						
茶	チャノキイロアサ ^{ミウマ} チャノミト ^{リヒメヨコ} バイ	1000～ 2000倍	200～400 L/10a	摘採45日前まで	1回	1回	
	チャノコカクモンハマキ	1000～ 1500倍					

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成26年11月17日に使用制限となる登録の変更が予定されております。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20940号	「興農」ジェネレート粒剤	アセフェート粒剤	興農股份有限公司
第20968号	「興農」ジェネレート水溶剤	アセフェート水溶剤	興農股份有限公司

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

1) アセフェート粒剤（第20940号 「興農」ジェネレート粒剤）

- ① 作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期（収穫21日前まで）」から「定植時に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期葉面散布」から「植穴処理」に、及び「3回以内」から「2回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内）」に変更する。
- ② 作物名「はくさい」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期 但し、収穫21日前まで」から「定植時に、「3回以内」から「1回」に、「定植時植穴処理及び生育期株元散布」から「植穴処理」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ③ 作物名「だいこん」の「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「は種前作条散布」から「作条散布」に、及び「2回以内（は種前及びは種時の処理は合計1回以内）」から「1回」に変更する。
- ④ 作物名「きゅうり、トマト、なす」の「使用時期」、「本剤の使用回数」、「使用方法」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「定植時及び生育期（収穫前日まで）」から「定植時に、「3回以内」から「1回」に、「定植時作条散布又は植穴散布、生育期株元散布」から「作条散布又は植穴処理」に、及び「3回以内」から「1回」に変更する。
- ⑤ 作物名「ミニトマト」を削除する。
- ⑥ 作物名「ばれいしょ」の「アセフェートを含む農薬の総使用回数」を「5回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は4回以内）」から「3回以内（植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内）」に変更する。

2) アセフェート水溶剤 (第 20968 号 「興農」 ジェネレート水溶剤)

- ① 作物名「かんきつ」を削除する。
- ② 作物名「キャベツ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「3 回以内」から「1 回」に、及び「3 回以内」から「2 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 1 回以内)」に変更する。
- ③ 作物名「はくさい」の「希釈倍数」、「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「1000~1500 倍」を「1500 倍」に、「収穫 14 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「3 回以内」から「1 回」に、及び「3 回以内」から「1 回」に変更する。
- ④ 作物名「ブロッコリー」を削除する。
- ⑤ 作物名「だいこん」を削除する。
- ⑥ 作物名「トマト」、「ミニトマト」及び「なす」を削除する。
- ⑦ 作物名「ばれいしょ」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「収穫 7 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、「4 回以内」から「2 回以内」に、及び「5 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 4 回以内)」から「3 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)」に変更する。
- ⑧ 作物名「茶」の「使用時期」、「本剤の使用回数」及び「アセフェートを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「摘採 30 日前まで」から「摘採 45 日前まで」に、「2 回以内」から「1 回」に、及び「2 回以内」から「1 回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

1) アセフェート粒剤（第20940号 「興農」 ジェネレート粒剤）

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コカガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時及び生育期 (収穫21日前まで)	3回以内	定植時植穴処理 及び 生育期葉面散布	3回以内
はくさい	アオムシ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)			定植時植穴処理 及び 生育期株元散布	
だいこん	アオムシ コカガ アブラムシ類		3～4kg/10a	は種前	1回	は種前作条散布
きゅうり	オンシツコナジラミ アザミウマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時及び生育期 (収穫前日まで)	3回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3回以内
トマト	オンシツコナジラミ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)				
ミニトマト	オンシツコナジラミ	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	定植時作条散布 又は 植穴散布	2回以内 (定植時の処理 は1回以内、 定植後は 1回以内)
なす	アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)	定植時及び生育期 (収穫前日まで)	3回以内	定植時作条散布 又は植穴散布、 生育期株元散布	3回以内
ばれいしょ		3～6kg/10a	植付時	1回	作条散布	5回以内 (植付時の処理 は1回以内、植付 後は4回以内)

[変更後]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 定植後の散布は 1回以内)
はくさい	アオムシ アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)				
	コナガ ヨトウムシ					
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前		作条散布	
きゅうり	オンシツコナジラミ アサミウマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a (1株当たり 1～2g)	定植時		作条散布 又は 植穴処理	1回
トマト	オンシツコナジラミ	6kg/10a (1株当たり 2g)				
	アブラムシ類					
なす	アブラムシ類	6kg/10a (1株当たり 2g)				
ばれいしょ		3～6kg/10a	植付時	作条散布	3回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後は 2回以内)	

2) アセフェート水溶剤 (第 20968 号 「興農」 ジェネレート水溶剤)

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
かんきつ	ヤノ初カラムシ ツノロウムシ ルビノロウムシ コアホナムグリ ミカンキイロアザミウマ	1000 倍	収穫 30 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
	チャノキイロアザミウマ アブラムシ類						
キャベツ	アオムシ コナガ	1000~1500 倍	収穫 7 日前 まで				
はくさい							
だいこん	ヨトウムシ アブラムシ類	1500 倍	収穫 14 日前 まで	2 回以内			2 回以内 (は種前及び は種時の処理は 合計 1 回以内)
ブロッコリー	ヨトウムシ	1000 倍					
トマト	アブラムシ類	1000~2000 倍	収穫前日 まで	3 回以内			3 回以内
	マメハモグリバエ	1000 倍					
ミニトマト	アブラムシ類	1000~2000 倍	収穫前日 まで	1 回			2 回以内 (定植時の処理 は 1 回以内、定 植後は 1 回以内)
	マメハモグリバエ	1000 倍					
なす	アブラムシ類	1000~2000 倍	収穫 7 日前 まで	3 回以内	3 回以内		
	ミカンキイロアザミウマ ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000 倍					
	アブラムシ類 オオニジュウヤホシテントウ						
ばれいしょ	アブラムシ類 オオニジュウヤホシテントウ			4 回以内	5 回以内 (植付時の処理 は 1 回以内、植 付後は 4 回以内)		
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000~2000 倍	摘採 30 日前 まで	2 回以内	2 回以内		
	チャノコカモンハマキ	1000~1500 倍					

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	アゼートを含 む農薬の 総使用回数
キャベツ	アムシ コガ ヨウムシ アブラムシ類	1000～ 1500 倍	100～300 L/10a	収穫 30 日前 まで	1 回	散布	2 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以内、 定植後の散布は 1 回以内)
はくさい		1500 倍					1 回
ばれいしょ	アブラムシ類 オオシブユウホシテントウ	1000 倍	2 回 以内	3 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)			
茶	チャノキイロアサミマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000～ 2000 倍	200～400 L/10a	摘採 45 日前 まで	1 回		1 回
	チャノコクモンハマキ	1000 ～ 1500 倍					

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は 1 日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。